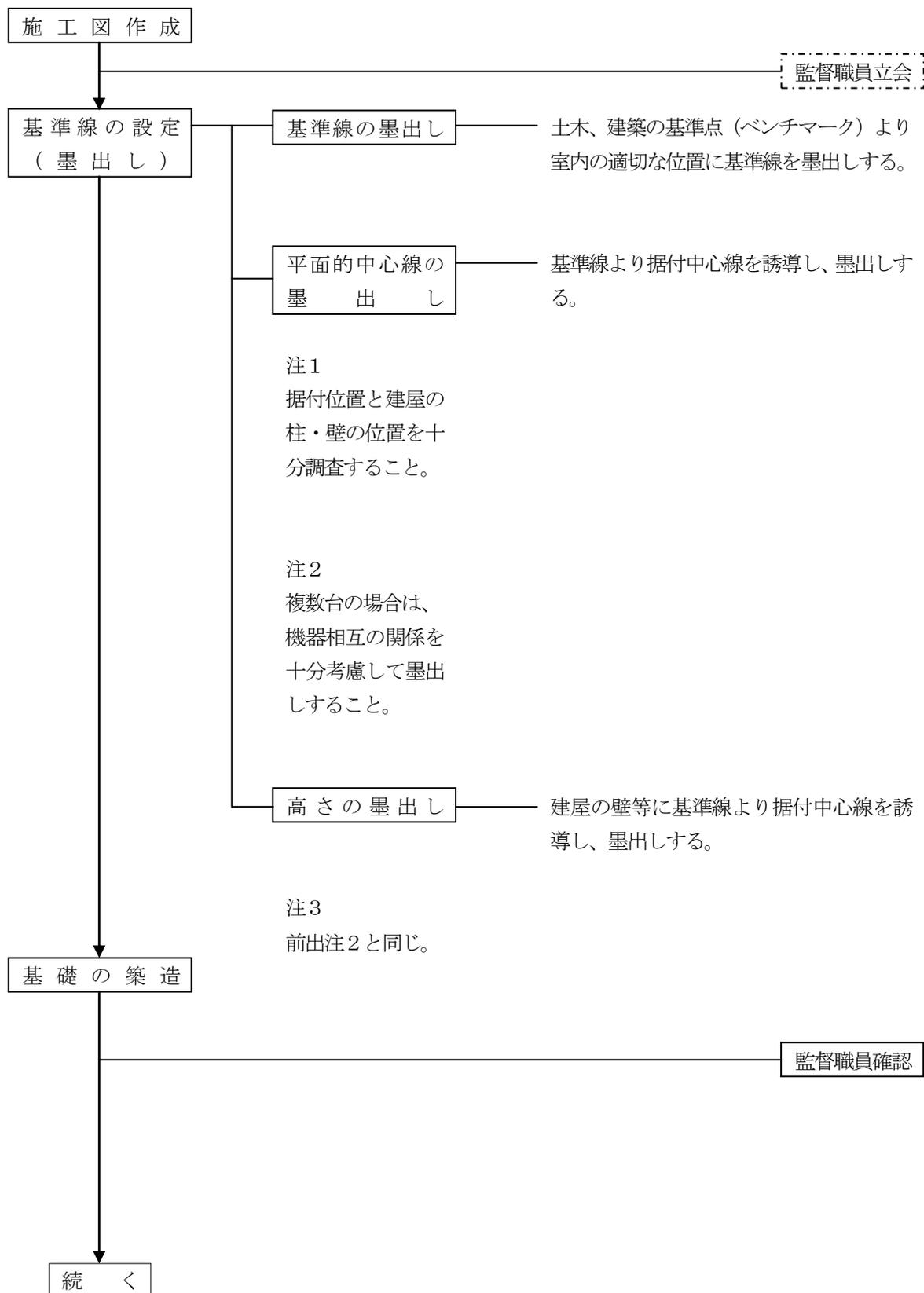


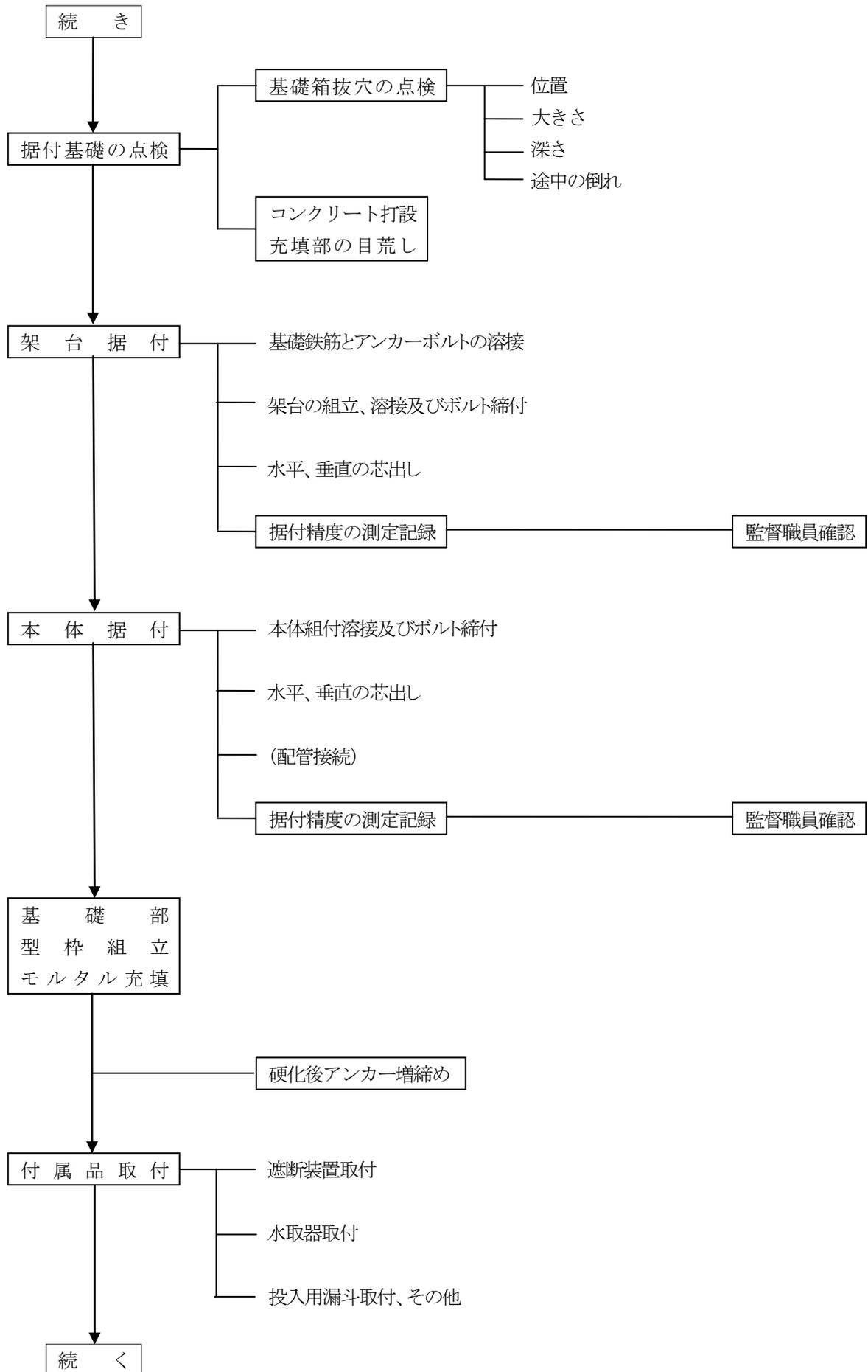
2. 12 消化槽設備

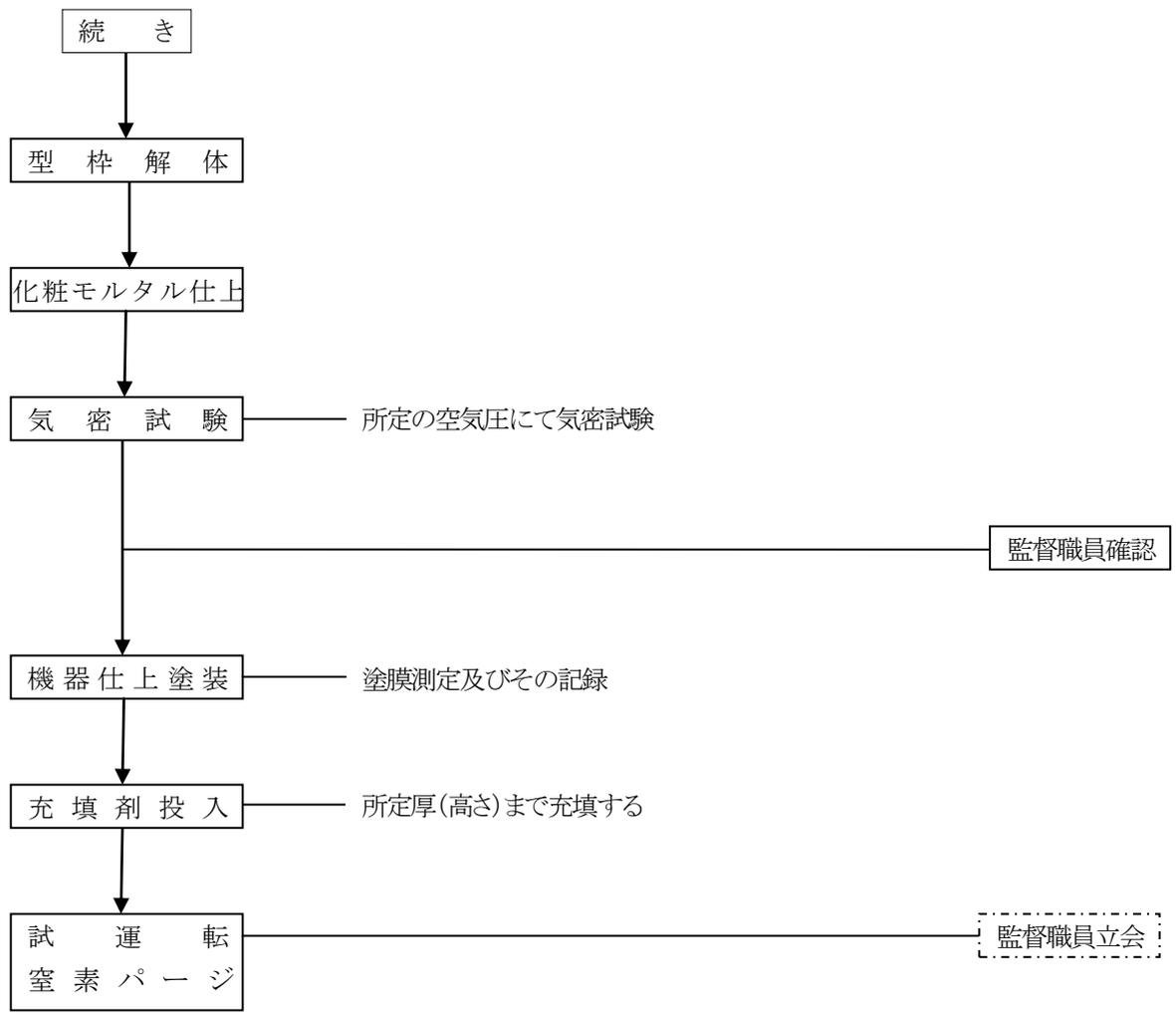
(4) 脱硫設備

① 据付手順

(ア) 乾式脱硫設備据付フローチャート

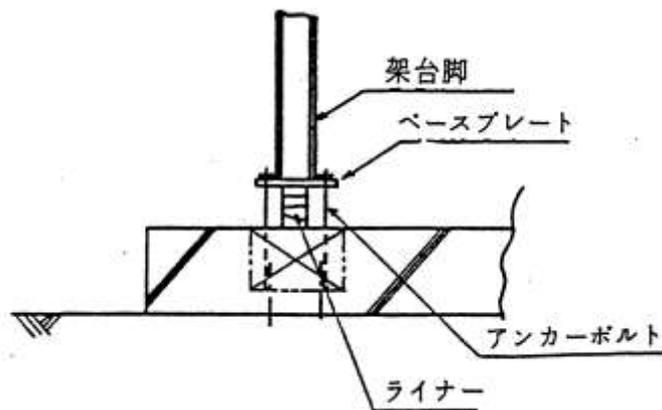






据付要領

(1) アンカーボルトと架台ベース、ライナー



ア. 架台ベースプレート部に鉄板を適当に切断したライナーを設置する。

イ. ライナーはベースプレートが小さくなるときは1ヵ所中央とし、大きくなるときはそれに準じアンカー近くに設置する。

ウ. このときアンカーボルトは箱孔の場合鉄筋に溶接しておく。

(2) 架台のレベル出し

ア. 下げ振り又は水準器にて架台のレベルを測定しながら薄いライナーをはさ込み据付高さ、タオレ、等を見る。

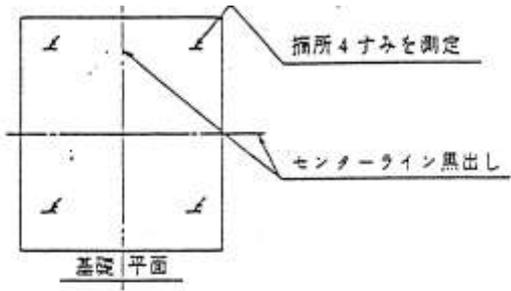
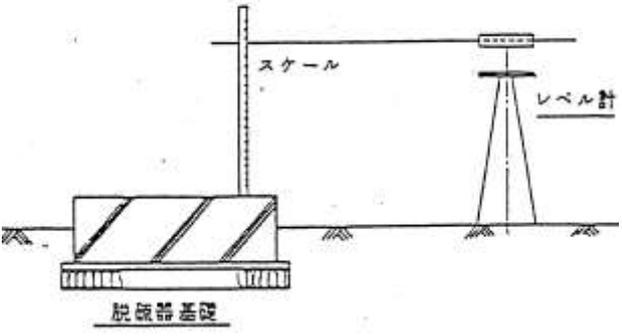
イ. 所定（本体据付精度に支障なき範囲）のレベルがでたらライナーを溶接する。

(3) グラウチングでアンカー固定

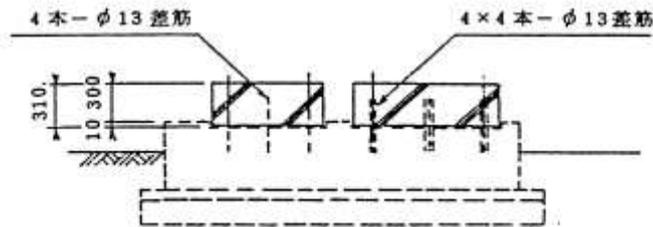
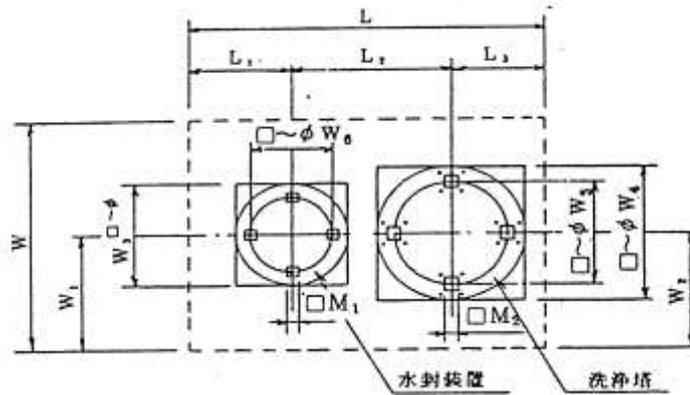
ア. アンカー部固定のため上記終了後、モルタルの流し込みを行う。

イ. しばらく養生しモルタルが硬化した時点でアンカーナットの締込（増締め）を行う。

② 墨出し及び測定の要領

測定項目	測定要領	測定箇所図
<p>本体据付基礎面のレベル確認</p>	<p>据付面の基準線は、基準点（ベンチマーク）より誘導し作業に便利な位置に副基準点を入れ据付レベルの誤差を確認する。</p>	
<p>本体据付基礎位置の確認</p>	<p>トランシット、巻尺等により、関係する消化槽、ガスタンク等との相互の関連を充分考慮しセンターラインの墨出しを行いノズルオリエンテーションの基準を作る。</p>	
<p>基礎寸法の確認と付近の状況調査</p>	<p>本体据付基礎の寸法を測定し、据付に充分かどうか、また付近の障害物の有無を確認する。</p>	
<p>(注) (1) 複数台数ある場合には、相互の関連を充分考慮し、墨出しを行うこと。</p>		

③据付標準基礎図



寸法表

単位：mm

記号 容量	W	L	L ₁	L ₂	L ₃	W ₁	W ₂	□W ₃ ~ φW ₃	□W ₄ ~ φW ₄	□W ₅ ~ φW ₅	□W ₆ ~ φW ₆	□M ₁	□M ₂
15 m ³ /H													
25 "													
50 "	3,000	4,200	1,200	1,500	1,500	1,500	1,500	850	1,200	850	600	100	150
75 "	3,400	4,600	1,300	1,600	1,700	1,700	1,700	850	1,350	1,000	600	100	150
100 "	3,600	4,900	1,400	1,700	1,800	1,800	1,800	950	1,500	1,100	700	100	200
150 "	4,000	5,400	1,500	1,900	2,000	2,000	2,000	1,050	1,750	1,350	800	100	200
200 "	4,400	5,900	1,700	2,000	2,200	2,200	2,200	1,050	2,000	1,600	800	100	200

設計条件・仕様

特記事項

1.鉄筋コンクリートは、
σ_{ck}=24N/mm²
とする。

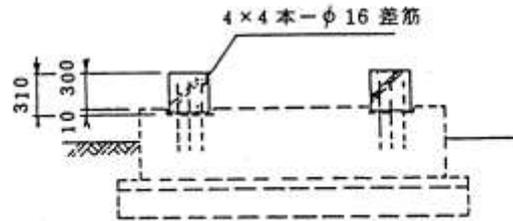
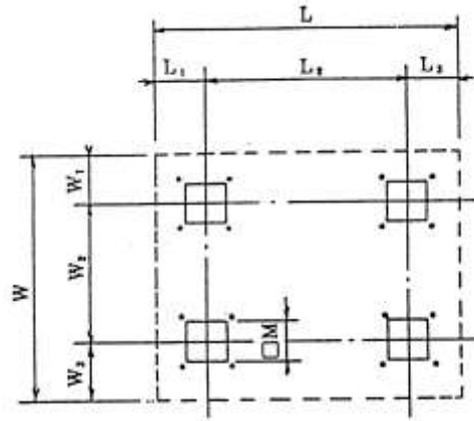
施工注意事項
(注記)

図面名称

脱硫設備
(湿式脱硫器)
据付標準基礎図

図面番号

③据付標準基礎図



寸法表

単位：mm

記号 容量	L	W	L ₁	L ₂	L ₃	W ₁	W ₂	W ₃	□M
15 m ³ /H	3,900	3,900	500	2,300	1,100	500	2,300	1,100	400
25 "	3,900	3,900	500	2,30	1,100	500	2,300	1,100	400
50 "	3,900	3,900	500	2,300	1,100	500	2,300	1,100	400
75 "	4,200	4,200	500	2,600	1,100	500	2,600	1,100	400
100 "	4,400	4,400	500	2,800	1,100	500	2,800	1,100	400
150 "	4,600	4,600	500	3,000	1,100	500	3,000	1,100	400
200 m ³ /H	4,900	4,900	500	3,300	1,100	500	3,300	1,100	400

設計条件・仕様

特記事項
1.鉄筋コンクリートは、
 $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$
とする。

施工注意事項
(注記)

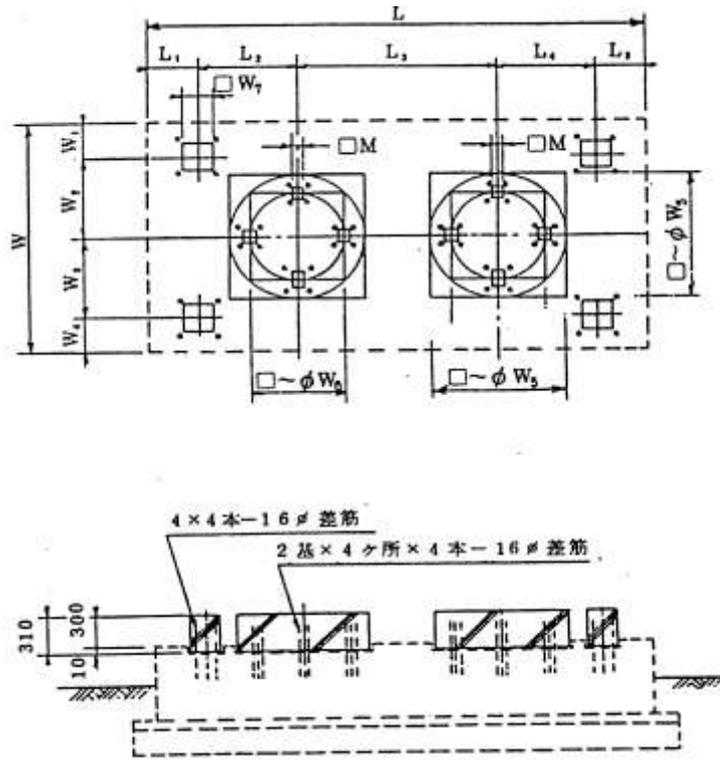
図面名称

脱硫設備
(乾式脱硫器 連続)
据付標準基礎図

図面番号

③据付標準基礎

図



寸法表

単位：mm

記号 容量	L	W	L ₁	L ₂	L ₃	L ₄	L ₅	W ₁	W ₂	W ₃	W ₄	□W ₅ ~ φW ₅	□W ₆ ~ φW ₆	□W ₇	□M
15 m ³ /H	4,400	3,700	500	1,100	1,200	1,100	500	500	1,100	1,100	1,000	800	600	400	150
25 "	4,400	4,000	500	1,000	1,400	1,000	500	500	1,250	1,250	1,000	1,050	850	400	150
50 "	5,100	4,200	500	1,175	1,750	1,175	500	500	1,350	1,350	1,000	1,050	850	400	150
75 "	5,500	4,400	500	1,250	2,000	1,250	500	500	1,450	1,450	1,000	1,550	1,350	400	150
100 "	5,800	4,500	500	1,400	2,000	1,400	500	500	1,500	1,500	1,000	1,900	1,650	450	150
150 "	6,300	4,800	500	1,450	2,400	1,450	500	500	1,650	1,650	1,000	2,200	1,950	450	150
200 m ³ /H	6,800	5,000	500	1,600	2,600	1,600	500	500	1,750	1,750	1,000	2,400	2,150	450	150

設計条件・仕様

特記事項
1.鉄筋コンクリートは、
 $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$
とする。

施工注意事項
(注記)

図面名称

脱硫設備
(乾式脱硫器 間欠)
据付標準基礎図

図面番号

④ 試験・試運転

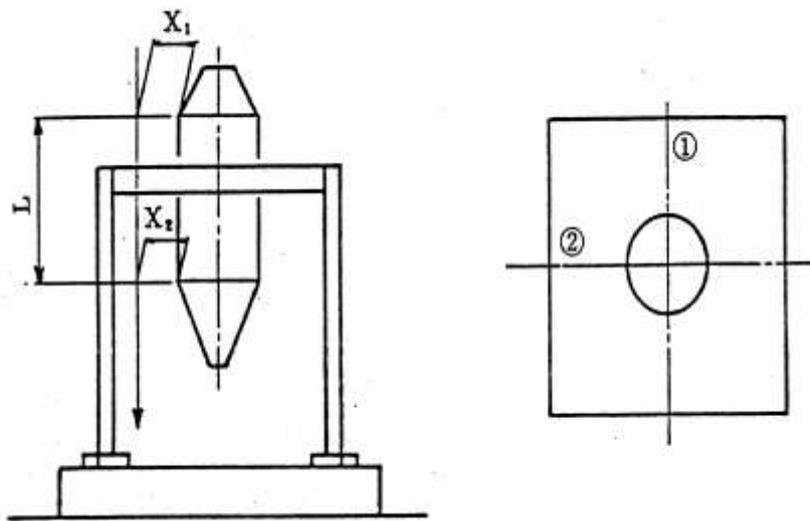
種別	試験内容		判定方法及び基準	記録事項	判定	摘要
	運 転 準 備	本体内部 清掃点検	本体内部の清掃を行い、障害物の有無の確認を行う。			
		投入排出遮断装置 の作動確認	遮断装置が作動するか確認する。			
	運 転 確 認 ・ 試 験	気密試験	本体の出入口及び各ノズルを密閉し、空気圧縮機にて加圧し、圧力4.5kPa をかけ放置後圧力降下の有無をチェックを行う。			

⑤ 施工記録

施工管理記録

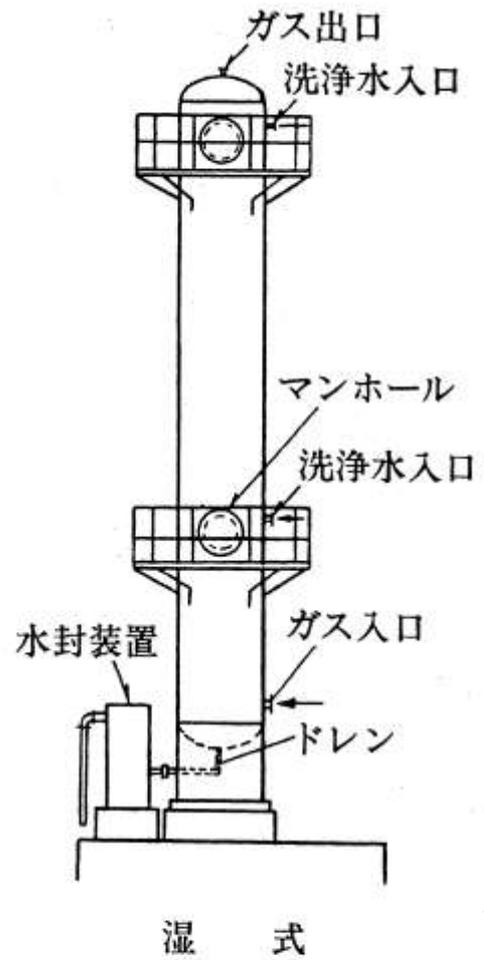
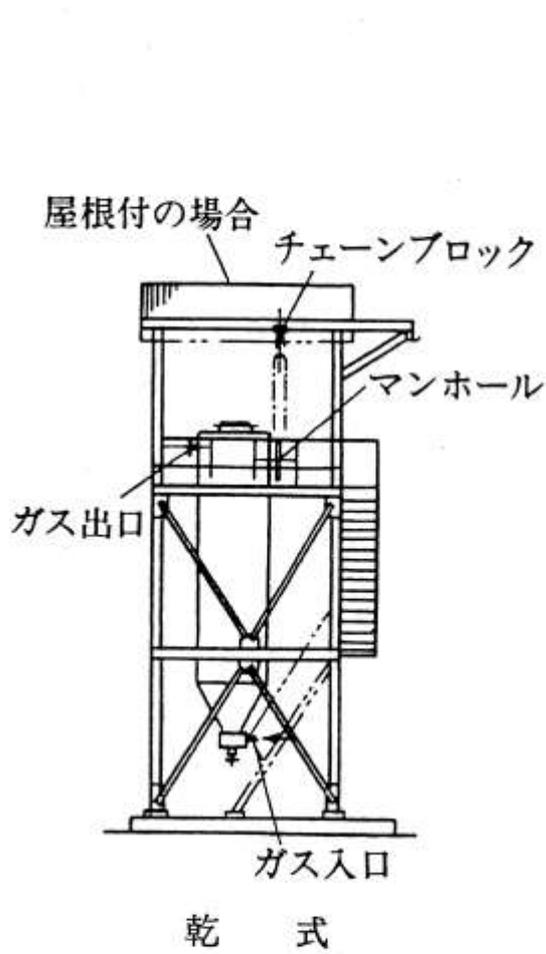
乾式脱硫器垂直度測定表

工事名称			
施工場所		測定年月日	
機器名称		測定者	
機番 (No)		立会者	



測定位置	算式	X_1	X_2	L	$\frac{ X_1 - X_2 }{L}$
①	$\frac{ X_1 - X_2 }{L}$				
②	L				

許容値 _____ / _____ 以内



脱硫設備